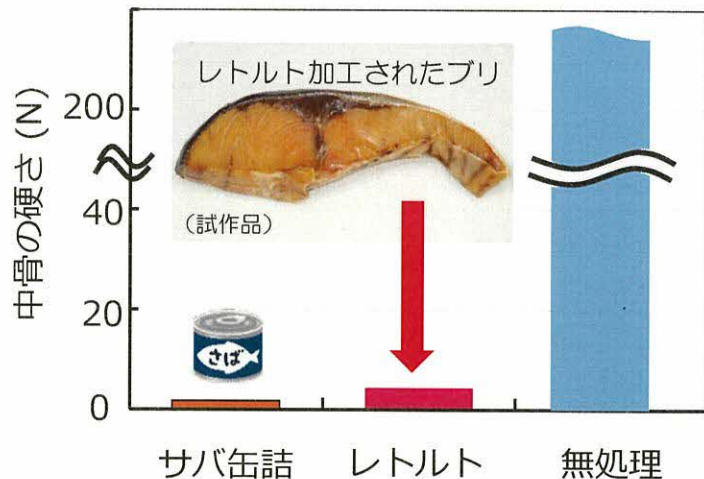


## 道産食品の競争力強化・安定供給に向けた技術開発

消費者ニーズに応じた道産食品の競争力強化、担い手不足を補う省力化技術による道産食材の安定供給が求められている。

### 成果

#### 1 食べやすい水産加工品の開発



中骨が缶詰相当に軟化し、喫食可能に！

### 期待される効果

道産食品・食材の高品質・高付加価値化、収穫作業の省力化による食材の安定供給を図る。

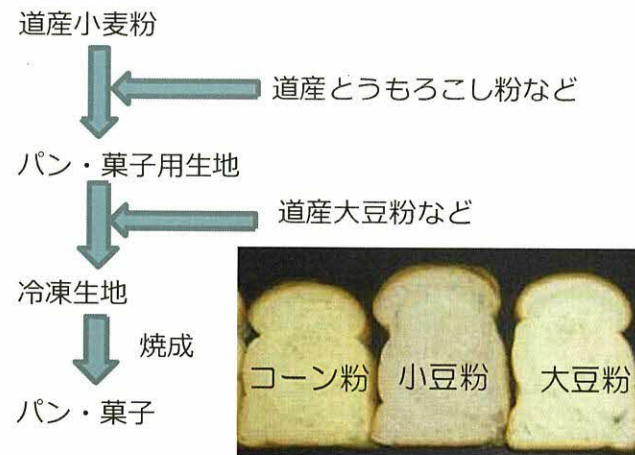
協力機関：食品加工企業、流通販売業者、生産者団体、道庁関係部局、産業支援機関、経済団体等40社・団体

### 流通範囲拡大



軽労化・生産の効率化

#### 2 道産パン・菓子素材の開発



道産素材の添加により特徴の異なるパンができる！

#### 3 カボチャの収穫作業省力化



カボチャの茎葉処理機

カボチャ収穫作業の時間が20%短縮

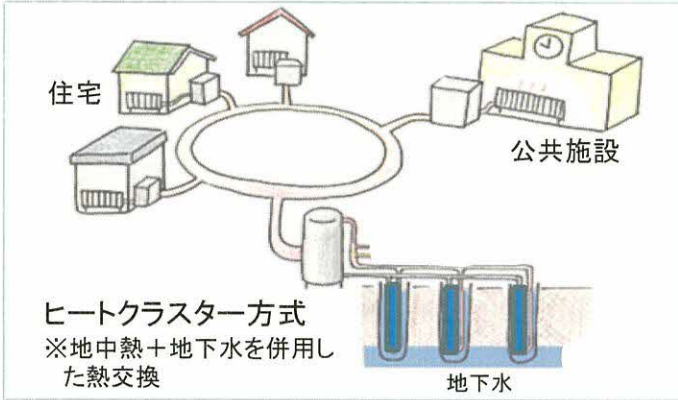
# 再生可能エネルギー利用拡大の取組み

## 背景

再生可能エネルギーや未利用資源を活用した熱利用の促進とCO<sub>2</sub>の排出抑制が求められている。

## 成果

### 1 地中熱



地下水と地中からの熱交換：地中熱のみの利用に比べ導入コストが約1/3（採熱量当たり）

### 2 木質バイオマス利用



熱源システム改善（重油→木チップ）：暖房の約80%を木で供給

## SDG's



エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに

### 3 温泉熱・ガス



園芸ハウスでの温泉熱・ガスによる熱電併用：カーボンニュートラル効果を検証中

## 期待される効果

自治体のエネルギー施策に活用され、エネルギーの地産地消による地域内経済循環に貢献。  
CO<sub>2</sub>の排出抑制によりカーボンニュートラルに貢献。

# 人口減少社会に対応した新たな地域の運営体制を考える

## 背景

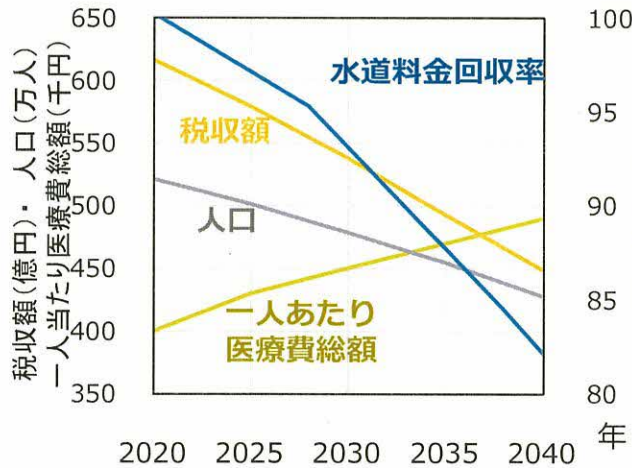
人口減少・過疎化により、従来型の地域運営の継続が難しくなっている。  
新たな地域運営のモデル（組織、事業、行政との連携）が求められている。



農村地域では共助による地域  
基盤維持が不可欠

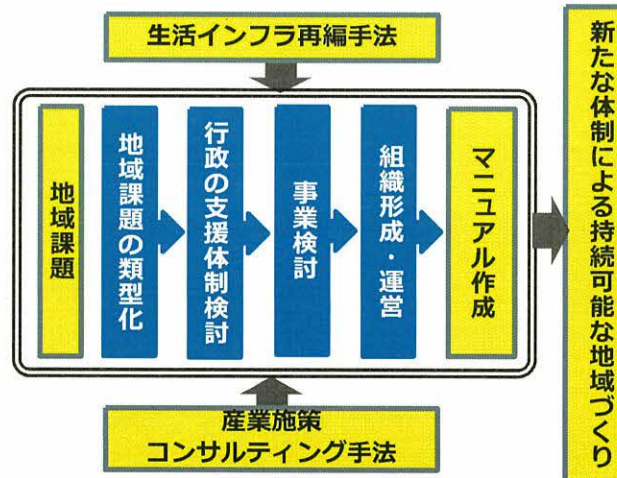
## 成果

### 1 先細る本道の地域運営



本道の人口・税収・医療費等の将来予測

### 2 新たな地域の運営モデルの検討



新たな地域運営体制づくりのフロー

### 行政による支援効果のシミュレーション



道内M町の商品券事業による検証

## 期待される効果

新たな地域の運営体制が示されることで、持続可能な地域づくりが促進される